

目次

東京国際ブックフェア2002	1
うちの会社	2
理事会報告・委員会報告	3
海外ニュース	4
新・パソコン外論考(其25)	5
出版文化史遺産(67) 洋書の歴史雑記帳(XXII)	6
3の意味と人間の数知	7

東京国際ブックフェア2002



東京国際ブックフェア2002(TIBF2002)が4月18日(木)～21日(日)に東京ビッグサイトで開催されました。出展社数は国内469社、海外は28カ国・地域より72社、入場者数は4日間で49,501人でした。

今年のテーマは「子どもの読書推進」、4月23日が「子ども読書の日」に制定されたことを記念して特別ブースが設けられ、親子向けの催し物が賑やかに行われました。活字離れ、本離れが喧伝される昨今、未来の読者たる子ども達には特別な日だけではなく、いつもの生活の中で本に親しみ、その素晴らしさを実感して欲しいものですが、そうなるには、いつも背中を見られているわれわれ大人達がもっと読書に精を出すことも肝要ではないでしょうか。

東京国際ブックフェアの目玉催事として、当協会主催「洋書バーゲンセール」はすっかり定着した感があります。毎年この「洋書バーゲン」についての問い合わせが会期の2～3カ月も前から事務局に寄せられますが、そのことから関心と期待の強さを窺うことができます。今年は会員14社が参加、64台のワゴンに各社が持ち寄った洋書を満載して臨んだ結果、初日からの盛況が最終日まで続き、4日間で昨年を大幅に上

回る約1,300万円の売上を記録しました。ただ、売上が伸びたことは大へん喜ばしいことですが、単価の低さ(平均約800円)を考えると販売の手数もまた大へんなものだったようで、次回以降へ向けては、レジの導入などいくつかの点で智慧を出し合い、改善を図らなければならないでしょう。とは言え、参加の各社の皆さんには誌上を借りてご奮闘に敬意を表すると共に、ご協力に感謝します。

このブックフェアが“国際”の名を冠するようになって以来、版權売買などのトレードが主体か読者謝恩が主体かが議論されてきました。最近数年の傾向をみると読者謝恩の色合いが濃くなってきたようで、昨年辺りから期間限定ながらも割引セール花盛りの感があります。読者にとっては大へん有り難い機会ですが、世をあげて値引き合戦の最中とはいえ、出たての新刊書まで割引の対象としていたブースもあり、一寸気になりました。取り越し苦労でしょうか。一方、昨年からは書店と出版社の直接商談が各社のブースで行えるようになり(市会)、新たなトレードの場が出現したことになります。様々な試みが実を結び、読者・書店・出版社いずれにとっても魅力あるブックフェアに発展し



ていくことを期待します。

今年2月に台北国際図書展に参加する機会を得ました。そこで受けた印象も醒めやらぬ内にこのブックフェアを迎えた訳ですが、参観者の数と会場を包む雰囲気の違いに当惑を覚えました。台湾には日本のような書店が非常に少ないので、年一回の図書展を待ちかねて大勢の読者が押し寄せるのだそうです。それにして

も、会期6日間に延べ20万人は驚異的な数でした。本の流通システムの違いもさることながら、総統や行政院長が来場するという国を挙げての催事としていることも大きな要因でしょう。ここ東京でも、総理大臣や文部科学大臣、国会図書館長などが短時間でも顔を見せれば、「子ども読書の日」が生きたものになるような気がしました。
〔H. T. 記〕



うちの会社

株式会社 イタリア書房

東京都千代田区神田神保町2-23
Tel : 03-3262-1656 Fax : 03-3234-6469

イタリア語の本が欲しいと思ってても手に入らなかった1958年に、東京外国語大学イタリア語科の大学院生であった伊藤基道によって小社は創業されました。もともと伊藤は白樺派の有島生馬先生を会長とする「イタリア文学会」幹事の任にあって、イタリア書籍の輸入を試みてよりその面白さに取り付かれ、飯を食うための仕事としてよりも興味に先行されて、最初は高円寺、後に川崎の自分の下宿部屋にイタリア書籍を積み重ね、先生方に紹介されるままに北海道から九州まで大学や図書館にイタリア書籍を詰め込んだリュックを担いで回り、イタリア書籍の普及と蔵書調査に情熱を燃やしておりました。ちなみに伊藤は大学の山岳部創部期メンバーの一人でもあり、部長は串田孫一先生でした。「東京外国語大学山岳部」と大書されたリュックに本を詰めて毎日出かけるので、よく山に行く学生だと近所の人に勘違いされました。しかしながら修論を書きながらの創業という二足の草鞋は苦労したようです。大学

の指導教官からはそのまま教職につくよう要請されますが、それを断って、日本最初の「イタリア書籍専門店」の創業を決意し、多くの先生方の賛同を得ます。そこには大学の仲間も近づいてきて加わり、1958年3月正式に小社は誕生します。同時に伊藤はイタリア書籍とイタリア事情を併せて紹介する月報「イタリア図書」の編集・刊行も始めます。翌年憧れの神保町に店を構えると、林達夫先生もよくお寄りになり、その豊富な知識を分けて下さったそうです。そしてスペイン・ポルトガル語書籍の扱いも始めました。後に経営の一端を任せれた仲間の背任と詐術にあう事件がありましたが、伊藤は持ち前の良識で退けています。1982年には本邦初の「和伊辞典」(高橋久著)を刊行しました。当時和伊辞典など商売にならないとどの出版社からも断られたものでしたが、吉川英治文化賞を頂き、大いに誇らしく思います。光陰矢のごとく今年45年目です。

伊藤 道一

理事会報告

4月23日(火)

1. 3月末日で退会した日販アイ・ビー・エス(株)に代わって同社本社の日本出版販売(株)が正会員を引き継ぐことを承認した。名称変更とみなす。
2. 2002年度予算案を一部修正して承認した。
3. 2001年度決算及び監査報告を承認した。
4. 総会議事を了承した。
5. 以下の委員会報告を了承した。
 - ・冊子体2002年版ダイレクトリーの編集作業は

順調に進行中、5月26日に校了予定、総会前には刊行できる見込みである。紀伊国屋書店の代理店情報をウェブに取り込む計画を進めていたが、同社の意向により断念した。

(ホームページ・ダイレクトリー委員会)

- ・東京国際ブックフェア洋書バーゲンセールは14社参加、ワゴン64台で開催。売上は前年比107.8%であった。(事業委員会)

委員会報告 <文化厚生委員会>

第104回 72会ゴルフコンペ

2002年3月23日(土)

会 場：狭山ゴルフクラブ

参加者：6組・24名

〔成績表〕

		グロス	ハンデ	ネット
優勝	原田幸四郎(丸善)	94	22	72
2位	西山幸児(西山洋書)	87	10	77
3位	松浦拓己(丸善)	89	10	79
4位	田中泰介(医学書院)	90	10	80
5位	大野俊夫(日本出版貿易)	107	26	81
ブービー	村山新吾(ゲーテ書房)	127	26	101
ベストガルフ	西山幸児(西山洋書)			

ドラコン 西山幸児(西山洋書) (3ヶ)

小林謙作(医学書院)

ニアピン 山川隆司(ユサコ) 西山久吉(西山洋書)
鶴 三郎(東亜ブック) 和田 茂(大洋交易)

原田幸四郎さん、初優勝おめでとうございます。次回第105回72会ゴルフは5月18(土)箱根CCです。日本出版貿易(株) 中林会長にお世話いただきました。

(株)東亜ブック 鶴 三郎

<訂 正>

2002年版ダイレクトリーの名簿に訂正があります。

P.15 〔誤〕株式会社 医学書院 洋書部
〔正〕株式会社 医学書院

P.35 株式会社 ニュートリノ 仕入責任者
〔誤〕近藤 高弘
〔正〕谷 英一 Eiichi Tani

投稿を募ります

会報をより身近な、またより多彩なものにするために、会員の皆様のご投稿をお待ちしています。

☆題材は問いません。洋書に関わることばかりでなく、随筆・随想、旅行記、趣味の話など、何でも結構です。写真、イラストも歓迎!

☆一遍2000字以内としますが、長文の場合は何回かに分けて掲載することも考慮します。

会報委員会



海外ニュース

◆ Hodder HeadlineがJohn Murrayを買収

英国で最も古い歴史を持つ独立系出版社 John Murray が Hodder Headline に買収された。買収金額は明らかにされていない。どちらの出版社も教育および一般書分野の出版を行っており、業務上の適合性は充分ある。John Murray が出版する一般書(フィクション・旅行書・伝記など)は、引き続き John Murray の名前で刊行され、ペーパーバックなど一部が Hodder のインプリント Sceptre に吸収される。

Hodder Headline の Mr. Tim Hely Hutchinson、Chief Executive は、Murray の一般書出版のため新たな Managing Director を選任するつもりだと言う。彼は Albermarle Street に建つ優美なジョージ王朝期建築である Murray オフィスとのつながりを維持したいとしている。このオフィスには Euston Road の Hodder Headline オフィスへの移転を前にしたスタッフが残っている。Mr. Hutchinson は、Murray のスタッフ 45 名ができるだけ多く残れるよう努力したいとも語っており、彼らが就く可能性のあるポジションに人員を補充しないよう Hodder Headline スタッフに指示しているという。一年以上勤務した全ての Murray スタッフには、株主からのボーナスが支給された。Murray 社重役である Mr. Perren と Mr. John Murray

は、少なくとも 6 月末までは現在の地位に止まる。

Murray 出版物の流通は、クリスマスまでは「契約に基づいて」Grantham が行い、その後 Hodder Headline の distributor である Bookpoint に引き継がれる。Murray 社の 2002 年売上高は、約 800 万ポンドと試算されている。

the Bookseller. com, MAY 10, 2002

◆ Penguin と Pearson が流通業務を見直し

2004 年に予定されている Penguin 倉庫の Harmondsworth からの移転に先立ち、Penguin と Pearson Education はそれぞれの流通業務を共同で見直すことになった。両社は共同プロジェクト・チームを結成して、Pearson (Pearson Education と Penguin を傘下に持つ) 全体の流通業務について統合の可能性を検証する。こういった統合の可能性については、5 月初めに Penguin Group の Worldwide Chief Executive に就任した Mr. John Makinson の示唆によるもの。しかし今週 Penguin は、未だ何の具体策も決定されていないとのコメントを出し、「Harmondsworth で業務に就いているスタッフは全員この経過を把握している」と述べた。「この困難な状況下においても、倉庫スタッフは高度なレベルのサービスを提供し続けている」Penguin は昨年末に土地建物を不動産開発業者 2 社に売却し、2004 年迄の賃貸契約を結んで倉庫を使用している。23,000 平方メートルもの倉庫は、Dorling Kindersley の流通を引きうけた昨年夏以降フル操業が続いている。

the Bookseller. com, MAY 23, 2002

日本洋書協会ダイレクトリー 2002 ＜JAIP DIRECTORY＞

25.7 × 18.2cm 本文 67 ページ

《頒 布 価》

会 員 2,500 円 (送料共)

一 般 4,500 円 (送料共)

海 外 8,000 円 (航空便送料共)

＝ 追 加 注 文 承 り 中 ！ ＝

新・パソコン外論考 (其25)

宇田川一彦

◆Good Morning Heartache／悲しみよ、今日は！

子曰く、君子噉於義、小人噉於利、

The Master said, "The Gentleman understands what is moral. The small man understands what is profitable."

(論語／里仁・The Confucius; The Analects/Book IV)

【超拙意訳；「紳士は、道理(義務)に目覚めるが、そうでない人間は、利益に聡いものだ」と先生は言われました。】

★Internetについて

大型連休の最終日に、井の頭公園内に昨年開館いたしました「三鷹市立アニメーション美術館」(三鷹の森ジブリ美術館＝ghibli-museum.jp/)に行ってみました(<http://www.>は省略)。ただ単に、館の外観の写真のみを撮りに行ったわけですが(2002年から館内の撮影は全面禁止の立看板あり)。実は、中も覗いてみたいのですが、いかんせん3月先まで入館券が売り切れ状況とのこと。また、この入館券は、当美術館入口では発売されておられません。【新卒の発売方法で、完全予約制、某大手コンビニエンス・ストア convenience store でしか入手できません。なにか、inconvenience な感じで…。この入館券の発売等に関しては上述しました HP (Home Page) に記載されています】

外観をぐるりと一回りして、気がついたのですが、ちいさいお子さん連れの夫婦が多いのかと思っておりましたら、意外に若いカップルが圧倒的に多かったのです。デートコースにでも？

また、昨年訪れた兵庫県宝塚市立の「手塚治虫記念館(city.takarazuka.hyogo.jp/tezuka/)」とイメージが、そっくりなのにびっくり。

▲現在、梅雨のないと言われています東北・青森(近年は梅雨的な雰囲気の日も多いとか)のあの「特別史跡三内丸山遺跡(pref.aomori.jp/sannai/index.html)」の取材を6月上旬にと思っております(また、後日報告を、と)。

▲最近、本棚の奥から出し、再読した本「世界の博物館一知と技の宝庫を訪ねて」(川成洋編／丸善ライブラリー／1999年2月発行)は、ヨーロッパ・南北ア

メリカ・アジア(タイ／中国／韓国など)の28博物館の話であります。access-map付きで感激。ただ、残念なのは、3年前刊行ゆえ、大英博物館とドーヴァー博物館(ともに英国)、エリス島移民博物館(米国)しか Internet 用の URL (Uniform Resource Locaters = 資源、すなわちファイルやニュースグループ等の場所を示すための表記、まあ、Web Page = Home Page) の紹介がないことです。行ってみたくなる本です。

▲Internet 関連の本で、最近時々利用するものに「2002年版インターネットイエローページ」(ナツメ社／2001年12月刊)があります。ジャンル別約5,400余のweb-siteの紹介本。博物館数は少ないのですが、重宝するのは行政関連、新聞地方紙とコンピューター関連のsiteです。

★Internet関係のパソコン英語**** (17)

続々 e-mail 項目です。先号で mailer (e-mail 送受信ソフト。Mailing-soft と同 Mail Software と同) の使用で【SMTP】や【POP3】サーバー名等の設定や OS の XP で泣いたときに気がついたのですが、最近のアプリケーション・ソフト (Application Software) は、99% のものが、online manual といいですか、俗に言う Read Me File (= 私を読んでください = または、Help File) しかついていないのです。これも、やさしく「ぜひこのファイルをお読みください」といえばいいのに…。まあ、パソコンが Freeze (hangup) しているので、help を読みたくても読めません。友人曰く「help をプリントアウトしておけば…」。

『転ばぬ先のバックアップと Helpfile の印字』で、Internet 上の e-mail 方法は、次のようなものです。(uda と JAIP 氏との mail 送受信の例です)

■uda mail 送受信→←uda / (送信 SMTP-server ・ 受信 POP3-server) →←【INTERNET】→←JAIP / server (SMTP-server ・ POP3-server) →←JAIP 送受信●

この【SMTP】【POP】名の設定は、e-mail の「@」以降と同じと考えて大丈夫です。すなわち、筆者の場合は、【smtp(pop).nifty.ne.jp】です。14年ほど前に入会、またネットシステムも変わってますので当然「smtp.nifty.com」と入力すれば可と思ったのがダメだったようで、旧名がイキとは。反省。次号では mailer について、と思っております。乞御期待。

洋書の歴史雑記帳〔XXII〕高野長英と洋書(3)

鈴木 陽 二

◆「蚕社の獄」前後の洋学事情(1)

外国船が日本沿海に出没するようになって、1825(文政8年)には異国船打払令が発令され、海防に対する関心が高まってきた。ここで幕末のころに各藩や蘭学者によりきそって収集された軍事関係の洋学事情を、大ざっぱに見ておくことにしよう。

渡辺崋山を中心にして海防や各国事情の研究が行われていたが、彼が執筆した『外国事情書』などに見られる深い知識は、蘭学者との交流や蘭書(和訳書)の多読によって培われた。前回述べたように、崋山は田原藩の三宅友信に勧めて多くの蘭書を購入させ、その数は兵学書で219冊(88部)に上る。三河から出た譜代親幕の田原藩三宅家1万2千石の上屋敷は今の三宅坂の辺りにあって、友信はこの屋敷で藩主の直系として生まれた。しかし、田原藩は財政困窮で大藩から持参金付きの養子を迎えざるを得なかったため、若くして隠居の身となった。そして、蘭学を学び、大金を投じて収集した蘭書は多くの学者を潤したが、同時に自らも翻訳を手掛けた。フリードリッヒ大王の三兵戦術を論じたプロシャの軍政改革者シャルンホルストの蘭訳本から重訳した『泰西兵鑑』2冊(1856=文政3年刊)、佐久間象山が借用を懇請したにもかかわらずついに貸さなかったという貴重書で、砲術から三兵用法に至るまでを記述したデ・ブロインの著書の訳『鈴林必携』2巻2冊(1853=嘉永6年)などを上梓した。

友信の蘭書目録には数多くの有名な兵書が収載されているが、その中で翻訳されたものだけ二三紹介しよう。高野長英が脱獄して逃亡中に翻訳し続けたプロシャ人プラントの『三兵答古知機』27巻15冊(1856=安政3年)、同じくプロシャ人デッケルの『埵氏三兵答古知機』40巻(1850=嘉永3年)、「蚕社の獄」で自殺した小関三英(高彦)の訳したオランダ人ファン・オーフェルスタラーテンの『山砲略説』(1855=安政2年)、幕府天文台の翻訳陣が分担翻訳したオランダ人カルテンの『海上砲術全書』28巻29冊(1843=天保14年)などが見られる。カルテンの翻訳は津山藩の宇田川榕菴や箕作阮甫、幕末の優れた洋学者杉田成卿などが加わった、第一級の砲術書だった。

さらに収集には、プロイセンの兵学者クラウゼヴィッツの『戦争論』が二種、またナポレオンに関する本

も数種含まれている。江戸時代は兵学理論に関心が薄かったようで、クラウゼヴィッツの江戸期の訳はなく、明治に入ってから森鷗外が『大戦学理』として抄訳したのが初めてだった。日本におけるナポレオンは、フランスのオランダ併合を出島の商館がひた隠しにしたため情報が入ってこなかったが、ロシア船によって北方から情報がもたらされた。日本で始めてナポレオンを紹介したのは、頼山陽の漢詩「仏郎王歌」(1813=文政元年)だったが、本格的な著作は、小関三英が1837(天保8年)に翻訳したリンデン著『那波列翁伝』3巻3冊で、後に渡辺崋山の門人松岡台川により出版された(岩下哲典『江戸のナポレオン伝説』)。

「佐賀鍋島元侯爵家蘭書目録」には嘉永ごろから収集された732部の大量の蘭書がリストされ、その中の兵砲の部には155部、他の分類にも軍事関係書20点ほどが含まれている。鍋島藩は長崎の警固藩だった関係もあって、海外文化の波を直接受け、また藩主鍋島直正(閑叟)は蘭癖大名と異名を与えられたほど洋学の振興に熱を入れた。先進的な欧米の科学を吸収し、銃砲の改造、その製造のための反射炉の建設、軍艦の輸入、電信機・蒸気機関・汽船の製造など、富国強兵策を藩主自らの指導で推進した。1850(嘉永3年)に築造した反射炉の成果は目覚ましく、慶応年間まで271門の大砲を鑄造し、また幕府の要請で葦山の反射炉建設では技術者を送ったり、品川台場の大砲など51門もの大砲を幕府に納入した(杉谷昭『鍋島閑叟』)。この反射炉跡は、佐賀市街を貫く長崎街道から少し入り込んだ築地にあって、今は反射炉の模型や往時の砲筒が置かれている。この辺りの長崎街道は外敵防戦のため家並みがノコギリの刃のように配置され、街道はところどころ大きく曲がって見通しを遮断している。しかし、こういうかつての遺構を残してはいるものの、もう古色の家屋を見ることはできない。明治7年の佐賀の乱で5層の天守を誇っていた名城も焼失し、今では國重文の鯨の門とその続櫓、石垣などを残すのみで、佐賀市は城下町としての景観がほとんど失われてしまった。〔参考文献：佐藤昌介『洋学史の研究』／板沢武雄『日蘭文化交渉史の研究』／蘭学研究会編『洋学ことはじめ展』目録／『洋学二百年記念展』目録〕

(元丸善・本の図書館長)

テレビのトリニトロンを生み出したのは、キリスト教の三位一体説(神とキリストと人間)であるというソニー社長談を日経新聞朝刊で読んだことがきっかけで3という数字に関心を持つようになった。

3はわれわれの日常生活でも3に関係することが多い。3本の矢の話、3種の神祇、第3の道など、よく耳にする。卑近な例だと、プロ野球選手の背番号も3が好まれる。後楽園の簡易レストランでは、メニューにスポーツ3点セットがあり、パンには3の彫り込みがある。3の背番号をつけていた有名なプロ野球選手を思い起こして楽しく食事をする人もいるのであろう。

人間はまだ文化人としての水準に達していないらしく、敵と味方の二手に分かれて争うことが多い。

結婚も男女二人の問題であるが、やはり、仲介の労をとる媒酌人がいると、話が比較的順調に運ぶ。教育の面でも、教材、生徒、教師の3要素のハーモニーが必要であるし、相手と対立した場合、その調停役をする第三者がいると解決の道が見出されることが多い。

私と大学用教材とのかかわりは、新村朋美さんがUCLAにご留学中にNina Weinsteinさんを紹介してくれた時から始まる。行動的なニーナさんは早速一緒に英語教科書を書こうと誘ってくれたので、その後ほとんど毎夏をニーナさんのお宅に2、3週間滞在し、徹底的に話し合いながら、日本の英語学習者だけでなく、アメリカの高校生でも使えるような、21世紀のテーマ、「自然保護と文明の進歩」を選び、自然との矯正を頭に描きながら、上下巻300頁のものを完成した。

教材は「シアトル郊外、カークウッドの森」をテーマに展開する。日本とアメリカほど考え方が対立していることは珍しいのではないかとということで、教材の中では日本男性とアメリカ女性と結婚し、考え方の対立を描き出した。また、父と息子の対立、建設会社として伐採によって会社の収益を上げる必要性和ワシントン州の自然保護条例との対立、さらに倒産に追い込まれた地元建設会社の社員の解雇と救済などを取上げた。そのスーパーはコンクリートで固めた古い建築様式ではなく、森の緑と小川のせせらぎなどを生かした自然と共生するスーパーであり、単なる外国語としての英語を学習するだけでなく、ストーリーに含まれる

第3の道を選択をした人間の叡知が評価されることを期待したい。

ニーナさんは *Whaddaya Say?* など日本人の英語リスニング力を高めるための教材を執筆していることで知られているが、アメリカでは作家としても名が通っており、作品の一つはアメリカの高校用テキストにも掲載されている位なので、文体や感情の描写などはすばらしく、英語学習者は興味をもって読んでくれるだろうと思う。このテキストはストーリーとしても面白いし、また15の各パートに語彙客観テストと内容理解問題がついているので、英語学習用としても活用できる。英語圏に住んでいると英語に接する機会は山ほどある。今回の出版で全面的にニーナさんの協力を得たことは実に幸いであった。

今ほど英語がコミュニケーションの道具として重視されている時代はない。しかるに、よく聞かされるのは日本人の英語力はどんどん低くなり、アジアでも他国と比べてレベルが低いと位置づけられている。英語力の国際比較は翻訳文化ではなく、社会的機能のスキル面が測定される。

しかしスキル面の中心は母語に頼らない読解力である。その対策は、英英辞典あるいは英和辞典を活用してThinking in Englishの力をつけることと、新語句を発音記号または近似カナ表記で聴覚映像(sound image)ができるようにすることであると思う。

サンフランシスコ州立大学に留学していたときT. Womack教授に構造言語学を教わったが、授業の余談に、英語使用者は物事を2分する傾向があり、敵と味方に色分けしてしまうのは英語の特徴からきているのかもしれないという趣旨を語られたことがある。チェスは敵味方との盤上の争いである。将棋も盤上の争いではあるが、たとえ相手の駒でも一度捕虜にしてしまえば、殺さずに味方につけることができる点がチェスと異なっている。極東と極西の両文明を見事に調和させてきた日本人の叡知がこの教材を通して国内だけでなく、海外の若い世代に広く行き渡れば、英語教材の面で日本の国際貢献になることが期待できるだろう。

(聖徳大学教授)

3の意味と人間の叡知

島岡 丘

網膜 第3版

Retina

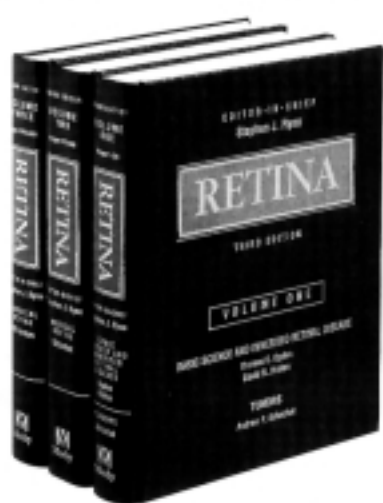
3rd Edition

By: Stephen J Ryan et al.

◆網膜硝子体疾患の基礎と臨床をカバーする成書。改訂第3版。基礎科学および遺伝性網膜疾患・腫瘍、内科、外科の全3巻より成り、基礎・診断・管理にわたる最新知見を詳述する。新版では、疾患の遺伝学や、サイトカインと病因、糖尿病、黄斑変性、ICGなどの最新画像診断法、さらに、原発性および合併して生ずる網膜剥離の代替外科治療や血管新生、増殖性網膜障害の薬理学、外科的管理、網膜剥離の予防、外傷管理などをカバーする。光力学的治療やETDRSの糖尿病性網膜剥離危険因子と治療に関する新資料も収録している。

◆ Contents:

BASIC SCIENCE AND INHERITED RETINAL DISEASE: Anatomy and physiology/ Virtual psychophysics/ Ocular immunology/ Evaluation/ Genetics/ Retinal degenerations and dystrophies/ Principles of vitreoretinal therapy. TUMORS OF THE RETINA, CHOROID, AND VITREOUS: Tumors of the retina/ Tumors of the retinal pigment Epithelium/ Choroidal melanoma and related issues/ Other tumors of the choroid/ Intraocular lymphoid tumors/ Tumors of the vitreous. MEDICAL RETINA: Normal retinal anatomy and function/ Pathologic responses/ Treatment principles/ Macular disease/ Retinal vascular diseases/ Inflammatory disease/ Other disease/ Optic nerve. SURGICAL RETINA: What normally keeps the retina attached? Retinal reattachments: Surgical principles and techniques/ Special adjuncts to treatment/ Complicated forms of retinal detachment/ Vitreous surgery - additional applications/ Index.



◆2601 pp. 3530 figs. 3rd ed.
3 volume-set 2001 ¥75,000

Medical
Books
from...

Mosby, St. Louis
日本総代理店 医学書院洋書部

IGAKU-SHOIN Ltd. 〒113-8719 東京都文京区本郷 3-24-17 ☎(03)3817-5680 FAX (03)3815-7805
Foreign Publication Dept. E-mail fd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp